泰山の古代遺跡探訪記；エッセイ集

火星の人面岩について

Copyright(C)1998-Taikoh Yamaguchi Never download please!

1998年4月6日にNASA（米航空宇宙局）から、マーズグローバルサーベイヤーという 火星探査機で撮影した最新の、いわゆる「人面岩」の写真が公表されました。 National Space Science Data Centerは次のように答えています。

-NASA has no official opinion on what the so-called "face" on Mars is.
Most planetary scientists agree that, although there is insufficient data to make a definitive analysis of the feature, it is highly unlikely to be anything other than a combination of a natural feature and unusual lighting conditions. -

NASAは火星上のいわゆる「顔」について何らの公式見解も持たない。 殆どの惑星科学者は、その対象物に対する断定的な分析に足る十分なデータは 持ってはいないが、自然の地形と特殊な光の条件以上の何者でもない可能性が 高いという見解に賛成している。

これに対し、日本の新聞やテレビでは、「単なるでこぼこの地形でしかなかった。」 と断定的に切り捨ててしまいました。
NASAは見解を表明していません。それが人面であるとも、そうでないとも言っていません。 アメリカのローカル番組のローラリー・ショーでは、それでも人面に見えると答えた人が 現在、２２０人中５６％でまさっています。
少なくともせっかくすばらしい写真が送られてきたのに、精査もせずに、議論もせずに 断定的に「単なるでこぼこ地形」と言い切る、日本のマスコミはレベルが低いですね。 というわけで、NASAの写真を紹介します。（尚写真はフリーです。） 皆さんがご自身で判断されますように。

尚、「人面岩」があると言われるのはシドニア地区で、１９７６年の被写体と１９９８年の被写体は 同じ物ですが、撮影角度と光源と解像度に差があります。 最初の写真は、NASAが提供している写真、その下は、１９７６年の条件に近づけたネガです。

シドニア地区にはこのほかピラミッド群がありますが、私はこの写真を２日ほど見続け、 ある考えに至りました。それは「人面岩」ではなく、「獅子岩」です。しかも それが長い年月のうちに風化され始めているということです。門番としての「獅子」と 神殿としてのピラミッドという図式ならば非常に得心がいきます。エジプトのスフィンクスも 現在のアンバランスな人頭の前は、「獅子面」であったとも言われています。
沖縄の海底遺跡と同様に、火星の（泰山流^o^）「獅子岩」は永続的にウオッチング していきましょう。日本のヒラミツト周辺には「獅子岩」と呼ばれる巨石が沢山あります。

Back to Menu-----Top